

形式：対面セミナー（配信あり）

補足：オンライン配信（Live配信）を実施します。会場受講が難しい場合はオンラインでご受講ください。なお、【見逃し配信はありません】ので、リアルタイムでご参加ください。

ジャンル：汎用スキル（QC、ものづくり、ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 1 2 3 r 1

FTA は未然防止の道具の一つです。そのためには、「未然防止の観点」で FTA を作成することが重要です。また、社内でも共有するためのシステム（しくみ）づくりも重要です。本セミナーではそうした観点から FTA のノウハウを具体的に説明します。

～教科書では分からない実務での注意点・ポイントを詳解！～ 未然防止のための FTA の作成ポイントと活用ノウハウ

講師：CS-HK 代表 上條仁氏

品質技法コンサルタント。FMEA・DRBFM、FTA、QFD（品質機能展開）などを活用した未然防止や品質向上、発明的問題解決手法（TRIZ）、ISO9001、IATF16949 を専門とする。1983 年（株）日立製作所入社。半導体設計開発に従事した後、半導体グループ品質信頼性保証本部にて ISO/TS16949（現 IATF16949）を認証担当 兼 全社品質改善活動担当として品質機能展開等の日立全社での普及・展開活動を推進する。2002 年（株）日立製作所退社し、CS-HK 設立。大手企業を中心に品質技法コンサルタントして活動中。著書には『本気で取り組む FMEA』（日刊工業新聞社）、『本当に役立つ TRIZ』（日刊工業新聞社・共著）、『常識をくつがえすモノづくり発想法講座』（工学研究社・共著）がある。

- 日程 2025 年 1 月 23 日（木） 10:30～17:00
- 会場 東京 ※都内中心部で調整中
- 受講料 対面受講 33,000 円（税込）／オンライン受講 36,300 円（税込） ※12/23 までのお申込で **2 割引** となります

<こんな方にオススメです>

- ✓ 「FTA が事故報告書の作成になっており、本来の（未然防止に役立つ）FTA を知りたい」という方
- ✓ 「FTA の重要性は認識しているが、具体的にどのように FTA を作成すればいいのか分からない」という方
- ✓ 「FTA はきちんと作成しているが、共有化やシステム構築が上手くいっていない」という方

<プログラム>

I. 未然防止活動と FTA

1. 本来の未然防止とは
2. 未然防止の区分け(問題解決/再発防止/故障予測)
3. 未然防止活動に有効な道具とその使い分け
 - ・品質表
 - ・機能図
 - ・なぜなぜ分析
 - ・信頼性ブロック図
 - ・QC 7 つ道具
 - ・比較分析法
4. FTA と FMEA
 - ・比較
 - ・実施上の心構え
 - ・期待効果
 - ・失敗例
5. 効率的な未然防止活動の実施時期とは
6. FTA 実施の明確化のために
 - ・品質機能展開
 - ・信頼性ブロック図

II. FTA の作成

1. FTA の活用法
 - ・未然防止のため
 - ・FMEA との併用
 - ・故障解析のため
2. FTA の留意点
 - ・不具合情報
 - ・メンバー
 - ・類似品情報
3. FTA の実施手順
 - ・実施準備
 - ・不具合事象の把握と定義
 - ・不具合事象の要因への展開
 - ・各要因の重要度の評価
 - ・是正措置、検討結果のまとめ
4. FTA の基本的な論理記号
5. 基本事象の抽出
6. FTA の実践ポイント
7. FTA の実施例

III. 演習

1. 信頼性ブロック図作成演習（個人演習）
2. FT 図作成演習（個人演習）

<学べること>

- ✓ 「未然防止活動における FTA」
- ✓ FTA の実施の注意点・ポイント・コツ
- ✓ 未然防止に活用できる FTA の具体的な作成手順
- ✓ FTA の活用事例
- ✓ FTA の活用・システム構築のポイント

<講義概要>

事故や不良は後を絶ちませんが、再発防止には FTA の実施が効果的です。しかし、FTA の実施には考慮すべき注意点や押さえておくべきコツがあり、単に事務的に実施しているだけでは思うような効果は期待できません。

そこで本講座では、まず、未然防止活動の考え方や区分（問題解決／再発防止／故障予測）を理解し、その上で、FTA の基本的な実施方法や活用方法を解説します。また、効率的に実施するためのコツや、上手く実施できない、効果がなかなか現れないと場合の要因とそのための是正ポイントなども説明します。なお、講義は、実務に即した具体的で明快な説明が中心で、事例の紹介や簡単な演習なども行います。FTA を始めたばかりの方や、導入を検討している方は、基本事項を学び自社での取り組みに活用してください。また、すでに実施している方は、自社のやり方と比較しながら、効率的な実施方法やコツの発見に役立ててください。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/1/23 未然防止のための FTA の作成ポイントと活用ノウハウ	<input type="checkbox"/> 対面受講 <input type="checkbox"/> オンライン受講
会社名※		
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒	
参加者①	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
	Email※	役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
参加者②	氏名※	TEL※
	所属※	FAX
	Email※	役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する	
備考※		

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		